

市民と野党でたたかう選挙

「憲法をないがしろにする政治に終止符を」－暴走する安倍政治を終わらせようと運動してきた市民のみなさんと宮本候補が、固くチカラをあわせた選挙運動が各地で広がっています。

清瀬 東久留米 東村山

市民の会、市民連合が政策協定を締結、推薦・支持を決定

政策協定書

10月10日公示、10月22日投票で行われる、第48回総選挙において、「選挙で変えよう東久留米市民連合」は、東京20区日本共産党公認候補 宮本徹氏を、下記の「私たちが求める政策」に同意し、その実現のために活動することを確認できたことから、この政策協定を締結することをもって、市民と野党の統一候補として推薦いたします。

私たちが求める政策

- 憲法違反の安保法制を上書きする形で、安倍政権がさらに進める憲法改正、とりわけ第9条改正に反対すること。
- 特定秘密保護法、安保法制、共謀罪など立憲主義に反する法律の廃止。
- 原発再稼働を認めず、新しいエネルギー政策の確立と地域社会再生により原発ゼロをめざすこと。
- 森友学園・加計学園及び熊笹ダン日報疑惑の疑念を徹底解消し、透明性が高く公平な行政を確立すること。
- すべての子ども、若者が健やかに育ち、学び、働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する政策を徹底的に拡充すること。
- 雇用の不安定化と過剰労働を招く「働き方改革」に反対し、8時間働けば暮らせる給与水準を実現し、生活を向上させる経済、社会保障政策を確立すること。
- LGBT に対する差別解消措置をはじめ、女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、選択的夫婦別姓や議員男女同数化を実現すること。

2017年10月7日

「私たちが求める政策」に同意し、その実現のために活動する。

衆議院議員選挙東京20区候補 宮本 徹

で変えよう東久留米市民連合)は、宮本候補の推薦のために

代表呼びかけ人 東久留米

みんなのチカラで 8,000枚の証紙はりも!



ここ

候補者の顔と名前が入った個人ビラには、東京都選管の「証紙」を1枚1枚はらなければなりません。市民連合と共産党のみなさんで昨日午後5時から10時まで5時間かけて8千枚をはりあげました。

宮本徹氏を20区野党統一候補として推薦・支持します

私も野党共闘を求める東村山市民の会は、昨年12月から市民、市内で働く方、青年・学生、各種団体などによって話し合いを続け、現在、共闘を求める立憲野党へ次の3点を要求することを決めました。

- 安倍政権が狙う憲法9条を中心とする改憲のたくらみを阻止し、集団的自衛権の行使を容認した閣議決定の撤回、特定秘密保護法と安保法制、共謀罪の廃止を求めます。
- 現憲法に示された平和的生存権や人らしく生きる権利、義務教育の無償化、男女平等などをかけた政策の具体化を求めます。
- 原発にたよらない再生可能エネルギーの推進を求めます。

10月3日、立憲民主党が設立され、立憲野党は日本共産党と社会民主党と合わせた3党となりました。希望の党に参加しなかった無所属の方とともに力を合わせ、競争する国づくり、憲法をないがしろにし、国民生活に目向けない政治に終止符を打たなければなりません。

当会は、本日、午前10時から東村山市民センター第1会議室で開催した第10回懇談会において、衆議院東京20区の候補者が自民党、希望の党、日本共産党の3候補になったこと、中央で立憲民主党、日本共産党、社会民主党の間で選挙協力の合意がされ、市内では地域政党を含む協力体制が整いつつあることを受け、日本共産党の宮本徹氏の推薦、ならびに支持を決定いたしました。

この決定は、10月8日時点で318人に広がった賛同者へもお知らせし、野党と市民の共同を広げ、勝利へとなげる努力を当会としてもおこなう所存です。

思想・信条の違いをこえて、9条改革を許さず、立憲主義と民主主義をとりもどす運動を心ひとつにして頑張ります。

2017年10月8日 野党共闘を求める東村山市民の会

「市民連合 東村山アクション」が設立

「市民が参加する、できれば発想・企画を出して、勝手連的な関わりをもって刺激」としようと、投票呼びかけ、街宣のもりあげ、駅頭でのビラ配りなどに取り組もうとしています。

新社会党も推薦



新社会党中央本部中央執行委員の大貫静子さんと(右から二人目)。大貫さんは清瀬市在住。